

進路指導室から 第399号

はじめに

11月も中旬に入りました。11月8日（火）には日本各地で皆既月食が観測されました。私が学校を出る頃には、普段とは違い、赤色と黒色が混じったような月が空に浮かんでいました。幻想的で不思議な感じがしました。

「学力向上の土台となる学習力育成の共同研究」について

ベネッセから、「学力向上の土台となる学習力育成の共同研究」に係る資料の提供がありました。学力向上を図るための方策について考える上で大変興味深い内容です。

■ 学力向上の土台となる学習力育成の共同研究

◇ 研究の概要

目的	学力が伸びた生徒・最難関大学受験者層の受験直前期の仕上がった学習スタイルを明らかにする
検査期間	2021年9～10月
学 年	2021年度高校3年生 3,317名
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 「学習習慣」「学習方法」「粘り強さ」「自己調整」「経験調査」に関する88項目の質問紙によるアンケート 入試結果調査および在学中の進研模試、スタディサポートの実施結果（主として3教科総合偏差値）のクロス分析

◇ 「学習力」とは

学習力	行動	学習習慣：学校の宿題や定期テストの復習がしっかりできているか、その結果として日常的な学習時間が確保できているか
	態度	学習方法：国語・数学・英語それぞれで効率的な学習方法をとれているか 粘り強さ：目標達成に向けて困難に直面してもあきらめずに最後までやり通すことができるか 自己調整：目標達成に向けて、試行錯誤（振り返り・分析を通し見直し・計画を立てる等）ことができるか

◇ 偏差値と得点率の相関

3年生10月 記述模試 国数英総合	受験者数	平均/学習習慣得点率	平均/学習方法得点率	平均/粘り強さ得点率	平均/自己調整得点率
75以上	78	67.0%	76.3%	78.9%	75.4%
70以上	191	67.8%	76.4%	77.7%	75.7%
65以上	308	66.3%	74.7%	76.5%	74.5%
60以上	456	66.0%	73.3%	74.8%	72.8%
55以上	529	64.5%	70.5%	72.0%	70.5%
50以上	403	64.8%	67.8%	70.3%	68.3%
45以上	275	62.7%	64.1%	65.0%	64.6%
40以上	132	62.0%	64.5%	65.4%	63.2%
39以下	53	58.4%	62.7%	62.7%	62.1%
総計	2,425	64.9%	70.6%	72.1%	70.4%

高校3年生10月時点の学力上位層においては、学習習慣では差は見られない一方、学習方法、粘り強さ、自己調整では、学力との関係が見られています。

■ 時期ごとの偏差値平均での成績上昇・下降者300人の4要素比較

学年	時期	学習習慣	学習方法	粘り強さ	自己調整
1年生	7月、11月、1月の平均	65.7%	72.6%	74.7%	72.0%
	1-3後半 差異				
2年生	7月、11月、1月、2月の平均	64.8%	69.5%	71.0%	68.8%
	2-3後半 差異				
3年生前半	4月、6月、7月の平均	63.0%	67.6%	70.0%	67.5%
	3-前半 差異				
3年生後半	9月、10月、11月の平均	62.4%	70.3%	71.8%	69.8%
	3-後半 差異				

【学習習慣】学力上昇者と下降者の差（15%以上の差異）

◇ 国語の宿題・授業の復習への取り組み

回答	上昇者	下降者	差
1 宿題と復習は必ずする	34.7%	18.7%	16.0%
2 宿題はしないが復習はする	9.7%	9.0%	0.7%
3 宿題はしているが復習はしていない	39.0%	46.3%	-7.3%
4 宿題は完全にできず復習にも手が回らない	1.0%		-3.0%
5 復習はせず宿題は写させてもらうことが多い	0.7%	1.7%	-1.0%
6 宿題も復習もしていない	15.0%	20.3%	-5.3%

◇ 英語の宿題・授業の復習への取り組み

回答	上昇者	下降者	差
1 宿題と復習は必ずする	48.3%	32.7%	15.7%

◇ 数学の宿題・授業の復習への取り組み

回答	上昇者	下降者	差
1 宿題と復習は必ずする	56.7%	38.7%	18.0%
2 宿題はしないが復習はする	13.3%	15.0%	-1.7%
3 宿題はしているが復習はしていない	19.7%	21.7%	-2.0%
4 宿題は完全にできず復習にも手が回らない	3.0%	13.7%	-10.7%
5 復習はせず宿題は写させてもらうことが多い	0.3%	1.3%	-1.0%
6 宿題も復習もしていない	7.0%	9.7%	-2.7%

学力が伸びる生徒は、

① 国数英で宿題+復習を必ず行っている

2	宿題はしないが復習はする	10.3%	10.3%	0.0%
3	宿題はしているが復習はしていない	31.0%	38.3%	-7.3%
4	宿題は完全にできず復習にも手が回らない	0.7%	5.7%	-5.0%
5	復習はせず宿題は写させてもらうことが多い	0.3%	1.0%	-0.7%
6	宿題も復習もしていない	9.3%	12.0%	-2.7%

【学習方法】学力上昇者と下降者の差（15%以上の差異）

◇ 問題を解くとき図やグラフをかいて考える

	回 答	上昇者	下降者	差
1	あてはまらない	1.0%	2.3%	-1.3%
2	あまりあてはまらない	3.7%	3.7%	0.0%
3	どちらともいえない	6.7%	15.0%	-8.3%
4	ややあてはまる	30.0%	38.3%	-8.3%
5	とてもあてはまる	58.7%	40.3%	18.3%

◇ 前後の文脈から語句の意味を推測する

	回 答	上昇者	下降者	差
1	あてはまらない	3.3%	5.7%	-2.3%
2	あまりあてはまらない	8.3%	10.7%	-2.3%
3	どちらともいえない	12.3%	19.7%	-7.3%
4	ややあてはまる	36.7%	41.0%	-4.3%
5	とてもあてはまる	39.3%	22.7%	16.7%

◇ 英語は文章全体の筆者の主張をとらえる

	回 答	上昇者	下降者	差
1	あてはまらない	2.0%	1.0%	1.0%
2	あまりあてはまらない	6.7%	8.0%	-1.3%
3	どちらともいえない	13.3%	22.3%	-9.0%
4	ややあてはまる	40.7%	46.0%	-5.3%
5	とてもあてはまる	37.3%	22.3%	15.0%

【自己調整】学力上昇者と下降者の差（15%以上の差異）

◇ 国語：不明点は調べたり質問をして解決する

	回 答	上昇者	下降者	差
1	あてはまらない	5.0%	7.7%	-2.7%
2	あまりあてはまらない	10.3%	8.3%	2.0%
3	どちらともいえない	17.3%	24.3%	-7.0%
4	ややあてはまる	28.0%	35.3%	-7.3%
5	とてもあてはまる	39.3%	24.0%	15.3%

◇ ただ暗記するのではなく理解して覚える

	回 答	上昇者	下降者	差
1	あてはまらない	1.7%	1.7%	0.0%
2	あまりあてはまらない	2.3%	4.3%	-2.0%
3	どちらともいえない	8.0%	17.0%	-9.0%
4	ややあてはまる	33.0%	40.3%	-7.3%
5	とてもあてはまる	54.7%	35.7%	19.0%

◇ 数学：不明点は調べたり質問をして解決する

	回 答	上昇者	下降者	差
1	あてはまらない	2.0%	3.7%	-1.7%
2	あまりあてはまらない	3.7%	9.3%	-5.7%
3	どちらともいえない	11.7%	20.3%	-8.7%
4	ややあてはまる	32.7%	35.0%	-2.3%
5	とてもあてはまる	49.7%	31.3%	18.3%

【粘り強さ】学力上昇者と下降者の差（15%以上の差異）

◇ 間違えた問題はあとからでも解き方を調べる

	回 答	上昇者	下降者	差
1	あてはまらない	1.3%	2.3%	-1.0%
2	あまりあてはまらない	3.3%	4.7%	-1.3%
3	どちらともいえない	6.7%	18.0%	-11.3%
4	ややあてはまる	27.3%	34.3%	-7.0%
5	とてもあてはまる	61.0%	39.7%	21.3%

◇ 授業でわからないこともわかるまで考える

	回 答	上昇者	下降者	差
1	あてはまらない	1.0%	4.7%	-3.7%
2	あまりあてはまらない	5.0%	10.3%	-5.3%
3	どちらともいえない	13.0%	22.3%	-9.3%
4	ややあてはまる	40.0%	41.3%	-1.3%
5	とてもあてはまる	40.7%	20.3%	20.3%

■ 最難関大学受験者の学習スタイル

◇ 最難関大学の合格者と不合格者の設問別回答差①

設 問 内 容	学習要素	受 験 者	合 格 者	不 合 格 者	差
前後の文脈から語句の意味を推測する	学習方法	48.4%	38.8%	62.1%	-23.3%
英語は文書全体の筆者の主張をとらえる	学習方法	44.7%	37.2%	55.2%	-18.0%
問題を解くとき図やグラフをかいて考える	学習方法	63.1%	56.0%	72.4%	-15.8%
英語は意味の区切りなどを意識し話す	学習方法	43.3%	37.2%	52.9%	-15.7%
難しい英語は知っている語彙で表現する	粘り強さ	62.2%	55.8%	71.3%	-15.5%
授業でわからないこともわかるまで考える	粘り強さ	54.8%	48.8%	63.2%	-14.4%

◇ 問題を解くとき計算や考えた過程を書く

	回 答	上昇者	下降者	差
1	あてはまらない	2.3%	2.3%	0.0%
2	あまりあてはまらない	6.3%	9.7%	-3.3%
3	どちらともいえない	13.0%	16.3%	-3.3%
4	ややあてはまる	30.7%	39.0%	-8.3%
5	とてもあてはまる	47.7%	32.0%	15.7%

◇ 英文の構造を理解し読む

	回 答	上昇者	下降者	差
1	あてはまらない	1.7%	2.7%	-1.0%
2	あまりあてはまらない	3.3%	9.3%	-6.0%
3	どちらともいえない	7.7%	18.0%	-10.3%
4	ややあてはまる	34.0%	41.0%	-7.0%
5	とてもあてはまる	53.3%	28.7%	24.7%

学力が伸びる生徒は、

- ① 数学：解答プロセスまで意識している
- ② 英語：英語の読み方のレベルが高い

◇ なぜ間違えたかのか考える

	回 答	上昇者	下降者	差
1	あてはまらない	1.0%	3.7%	-2.7%
2	あまりあてはまらない	4.7%	7.0%	-2.3%
3	どちらともいえない	8.7%	20.3%	-11.7%
4	ややあてはまる	41.3%	40.0%	1.3%
5	とてもあてはまる	43.7%	28.0%	15.7%

学力が伸びる生徒は、

- ① 不明点を調べたり質問をして解決する
- ② ただ暗記するのではなく理解して覚える
- ③ 間違いの原因を明らかにする

学力が伸びる生徒は、

- ① わからないことをそのままにしない
- ② わかるまで徹底して考える

※ 5段階評価で「5」
= 「とてもできている」の回答率

不合格者の方が、「学習方法」に関する質問で「5」をつける

評論文は論の展開や構成に注意して読む	学習方法	47.0%	41.9%	55.2%	-13.3%
古文や漢文は展開を追いながら理解する	学習方法	47.0%	41.9%	55.2%	-13.3%
英語は論理的に注意しながら伝える	学習方法	36.4%	31.0%	43.7%	-12.7%
図や表を使って分かりやすく説明する	自己調整	43.3%	38.8%	50.6%	-11.8%
英語：不明点は調べたり質問をして解決する	自己調整	48.4%	43.4%	55.2%	-11.8%
英語は必要な情報を細部まで正確にとらえる	学習方法	33.2%	28.7%	40.2%	-11.5%
英語は筆者の意図や気持ちを推測してとらえる	学習方法	35.5%	31.0%	42.5%	-11.5%
数学：授業に目標や目的をもって取り組む	自己調整	40.1%	35.7%	47.1%	-11.5%
数学：不明点は調べたり質問をして解決する	自己調整	58.1%	53.5%	64.4%	-10.9%
評論文は具体・抽象の関係に注意して読む	学習方法	51.6%	47.3%	57.5%	-10.2%
問題を解くとき計算や考えた過程を書く	学習方法	56.2%	51.9%	62.1%	-10.1%
国語：授業に目標や目的をもって取り組む	自己調整	25.3%	20.9%	31.0%	-10.1%
抽象概念を表す言葉の意味と合わせて覚える	学習方法	21.7%	17.8%	27.6%	-9.8%
数学の読めない問題は不明点を明らかにする	粘り強さ	59.4%	55.8%	65.5%	-9.7%

【仮説】
不合格者は該当の学習方法を
「実践できているつもり」にな
っている可能性



さらなる学習の高みを目指し、
自身の学習スタイルを客観視す
る機会が必要

◇ **最難関大学の合格者と不合格者の設問別回答差②**

設問内容	学習要素	受験者	合格者	不合格者	差
問題を解くために長時間じっくり考える	粘り強さ	44.2%	47.3%	39.1%	8.2%
文章から学んだことが普段の生活に通ずる	自己調整	27.2%	28.7%	24.1%	4.5%
問題を解くとき検算など答案の見直しをする	粘り強さ	40.1%	41.9%	37.9%	3.9%
評論文は筆者の主張とその論拠に着目し読む	学習方法	48.8%	49.6%	47.1%	2.5%
学習計画をあきらめず継続的に取り組む	粘り強さ	29.5%	30.2%	28.7%	1.5%
ただ暗記するのではなく理解して覚える	自己調整	71.9%	72.1%	71.3%	0.8%
習ったことどうしの関連をつかむ	自己調整	50.7%	51.2%	50.6%	0.6%
身につけたことを次の学習活動に生かす	自己調整	44.7%	45.0%	44.8%	0.1%
数学で解けない問題はあきらめずに考える	粘り強さ	50.7%	50.4%	50.6%	-0.2%
小説は登場人物の心理等を表現に即して読む	学習方法	31.8%	31.8%	32.2%	-0.4%
優先順位を決めて学習している	自己調整	45.2%	45.0%	46.0%	-1.0%
間違えた問題はあとからでも解き方を調べる	粘り強さ	69.6%	69.0%	70.1%	-1.1%
難しいことに直面してもあきらめずにやり抜く	粘り強さ	46.5%	46.5%	47.1%	-1.4%
理解できない文章は繰り返し読み理解する	粘り強さ	52.1%	51.2%	52.9%	-1.7%
どうすればできるようになるかを考える	自己調整	49.3%	48.8%	50.6%	-1.7%
古文や漢文は主語の省略を述語から類推する	学習方法	44.7%	44.2%	46.0%	-1.8%
他人を参考に自分にない考え方を理解する	自己調整	46.5%	45.7%	48.3%	-2.5%
公式・定理を覚えるときセットで覚える	学習方法	38.2%	37.2%	40.2%	-3.0%
公式・定理は問題を解き覚えたか確認する	学習方法	34.1%	32.6%	35.6%	-3.1%
授業では自分の意見をわかりやすく伝える	自己調整	31.8%	30.2%	34.5%	-4.3%

※ **5段階評価で「5」**
=「とてもできている」の回
答率

合格者の方が、不合格者と比較
して「5」をつける割合が高い
項目は

- ① **問題を解くためにじっくり**
考える
- ② **文章から学んだことが普段**
の生活に通ずることを感じる
- ③ **答案の見直しを行う 等**

◇ **「伸びる学習スタイル」「最難関大学受験者の学習スタイル」**

	学力が伸びた生徒の学習のスタイル	最難関大学受験者の学習スタイル
学習方法	国数英で宿題＋α復習の実践 数学・英語の高い学習スキル 数学：解答プロセスまで意識している 英語：英語の読み方のレベルが高い	数学・英語に加えて 国語の高い学習スキル 展開や構成に注意して読む 具体・抽象の関係に注意して読む
自己調整	学習過程を振り返り 見通しを立てることができる 不明点は調べたり質問をして解決する 間違いの原因を明らかにする	物事を概念化したり、 計画を修正・改善できる 問題を解く際には解き方を推測して解く 習ったことを関連づけたり、他の学習に転用する
粘り強さ	わかるまで学習を続ける わからないことをそのままにしない わかるまで徹底して考える	納得できるまで学習を続ける あやふやなことは納得するまで追求する 難しいことに直面してもあきらめずにやり抜く

また、「やり切ったと実感できる活動」や「誰かが喜ぶようなことをした経験」は「学習力」と高い相関が見られます。「学力の向上」を図っていくためには、学校での授業を大切にしながら、学校行事や部活動に意欲的に取り組むことではないかと思っています。

「第4回保護者対象進路研修会」について

以下にて、「第4回保護者対象進路研修会」を行います。

日 時	令和4年12月3日(土) 14:00~15:30
場 所	本校視聴覚教室
内 容	「2023年度入試について」
講 師	駿台予備学校 広島校 講師(予定)

11月22日(火)から進路指導室前に申込用紙を用意していますので、必要事項をご記入の上、お子様を通じて進路指導室部にご提出してください。2023年度入試の最新情報を提供したいと考えています。

終わりに

新型コロナウイルス感染症の「第8波」が懸念されています。本格的な受験シーズンが間もなく到来しますが、安心して受験できる状況であって欲しいものです。